

643 中央大学記事(学年試験問題・新学年の盛況・始業式・

新学年授業担任者・維持基金払込額及び氏名)

〔「法学新報」第31巻5(353)号 大正10年5月6日〕

○中央大学記事

○学年試験問題 中央大学大正十年学年試験は去る、三月七日より同二十六日迄挙行せられたるか各科の試験問題左の如し

法科第一年級

憲法(美濃部講師出題)

一 皇室の事務と国家の事務との区別を述へよ
皇室の事務の範囲を問ふ

二 左の各項に付き簡単に説明せよ

イ 皇族の賜姓降下

ロ 議会の会期

ハ 独立命令

憲法(金森講師出題)

一 国体及政体の観念を明にせよ

二 憲法第二十四条に「日本臣民は法律に定めたる裁判官の裁判を受くるの権を奪はるることなし」とあり其の意義を明にせよ

民法総論(穂積講師出題)

一 禁治産者か本心に復せる間に其法定代理人の同意を得て為

せる行為の効力如何

二 無権代理なる制度を設けたる理由を問ふ

民法総論(長嶋講師出題)

一 不動産とは何ぞや

二 条件の意義を説明せよ

物権法第一部(仁井田講師出題)

一 物権の性質を説明すへし

物権法第一部(黒崎講師出題)

一 物権の得喪変更と登記との関係を論ず

二 占有の効力に付き一の例を挙げて説明せよ

債権総論(岡村講師出題)

左記二問の内一問を選択して簡明に答ふへし

一 債権の不可侵性

二 甲乙丙連帯して金三百円を借受け甲は二百円、乙は百円を費消し負担部分に付き特約なし而して乙が其三百円を弁済したるも甲は無資力にて償還すること能はず乙丙間の法律關係如何

親族法(島田講師出題)

一 家と戸主たる身分とに付き説明せよ

二 財産に関する夫婦間の契約と夫婦財産契約との差異を説明せよ

親族法(近藤講師出題)

以下六問中任意二問を選択し解答すへし

一 婚姻の成立要件、受理要件、効力要件の異別を論せよ

二 真実に一致せざる認知（即ち眞の父母に非ざる者の認知）の効力を論ぜよ

三 婚姻予約の効力を論ぜよ

四 嫡出子、庶子、私生子の異別如何

五 法律上の離縁とは何ぞ

六 親権者の法定代理権の範囲如何

刑法総論（林講師出題）

一 中止未遂の意義並に処分を論ぜよ

二 過失の体様を説明すへし

刑法総論（泉二講師出題）

一 窃盗財を得て逃走せんとするに際り之か取還の爲已むこと

を得ずして犯人を傷害したるときは犯罪の成立を認むべきや

否や理由を付して説明すへし

二 中止犯とは何ぞ例を挙げて障礙に因る未遂罪との差異を説明すへし

明すへし

経済学（金井講師出題）

一 資本は生産の要素に非すとの説を評論すへし

二 交換価値と価格との關係を明かにすへし

経済学（河津講師出題）

左の三題の中二題を選ふへし

一 自由競争の利害を論ずへし

二 共産主義の意義を説明し其の得失を論ずへし

三 固定資本と流動資本との區別を説明すへし

社会学（瀧村講師出題）

一 有機的現象の特質を述べ社会現象の本質に論及せよ

二 国体と政体とについて知る所を述べよ

三 経済機関の官能

社会学（瀧村講師出題）

一 人間に対する外界の意義

二 道徳的機関の特色

三 社会進化に於ける戦争の意義

羅馬法（春木講師出題）

一 stipulatio の性質を説明せよ

二 甲は丙所有の特定の馬を一定の代金にて乙に売るの契約を

締結したり

契約締結の以後に右の馬は発病し因りて引渡以前に死したり

甲は乙に対して代金を請求し得べきや否や理由を具して答へ

よ

Common Law（春木講師出題）

(Write your answers in English.)

1. Distinguish a contract from an agreement.

2. What is a tort?

3. Explain the following terms?⁽⁷⁻²⁾

a. malfeasance,

b. misfeasance,

c. nonfeasance.

法科第二級

物権法第二部（馬場講師出題）

一 留置権の性質を明にせよ

二 条件附の債権にあらずして単に将来に於て発生することあるべき債権を担保する為めに予め質権を設定することを得るや

物権法第二部（二上講師出題）

一 同一動産の上に留置権、売買の先取特権及質権の競合する場合ありや若しありとせは其優先権の順位如何

二 債権を以て質権の目的と為したる場合に於て其債権の弁済期か質権者の債権の弁済期前に到来したるときは質権者及第三債務者は如何なる権利を有するや

債権各論（横田講師出題）

一 停止条件附双務契約か特定物に関する物権の設定移転を目的とする場合に其物か当事者の責に帰すべからざる事由に因りて滅失毀損したるときは其滅失毀損は何人に於て之を負担すべきや

二 請負人が注文者に対して負担する瑕疵担保の責任を説明せよ

債権各論（村上講師出題）

一 第三者の利益を目的とする契約の効力を説明すへし

二 売主の瑕疵担保の責任を説明すへし

相続法（島田講師出題）

一 胎児を家督相続人に指定することを得るか

二 共同遺産相続の効力を説明せよ

相続法（近藤講師出題）

以下六問中任意二問を選択解答すへし

一 相続分とは何ぞ

二 相続回復請求権とは何ぞ

三 減殺請求権の性質を論せよ

四 遺言の性質を論せよ

五 財産分離の効力を論せよ

六 相続に関する選択の意思表示（単純若くは限定承認又は抛弃）の取消を論せよ

商法総論及商行為論（青山講師出題）

一 小商人大商人の区別を論し其实用に及ぶ

二 登記したる商号の効力

三 絶対的商行為の意義並に其实例

以上三題中二題選択

商法総論及商行為論（三橋講師出題）

一 商事売買に於ける買主の検査並に瑕疵通知の義務を説明すへし

二 問屋の権利義務を説明すへし

会社法（樋貝講師出題）

一 資本金額百五十万円（内五十万円未払込）社債金額三十万円（払込済）なる株式会社か某期に於て株主に配当すべき利益を以て株式総数の五分の一を消却したり然るに其の次期の貸借対照表に依れば会社の現存財産額は百五十万円なりと謂ふ社債発行余力如何理由を附して解決すへし

二 左の事項に付略説すへし

イ 発起人の受くべき特別利益

ロ 優先株

ハ 法定準備金

会社法（大森講師出題）

一 合資会社の有限責任社員責任と株式会社の株主責任との異同を説明せよ

二 左の事項中二箇を選びて其の意義を説明せよ

イ 会社の組織変更

ロ 会社の継続

ハ 会社の解散

二 会社の消滅

手形法（矢部講師出題）

一 甲なる者乙より金円を借入れ其弁済方法として乙に対して
約束手形を振出し後日更に借入金を返還したるに乙は手形を
返還せずして其事情を知れる丙に裏書に依りて之を譲渡した
り甲は丙に対して手形上の責任を負ふや

二 為替手形の所持人が引受を求むる為め手形を呈示すること
を要する場合を説明すへし

三 支払拒絶証書作成免除の効力を説明すへし

手形法（樋貝講師出題）

一 約束手形の償還請求権行使の条件を略説し左の場合を解決
すへし

某裏書人が適法に償還を為したる翌日に於て振出人に対す
る手形上の債権は時効に因り消滅したり償還を為したる該

裏書人は償還後一年内更に其の前者に対し償還の請求を為
し得るや

二 類似のものと比較して左の観念を明にせよ

イ 参加引受

ロ 手形複本

ハ 支払担当者

平時国際法（中村講師出題）

一 犯罪人引渡の要件及引渡さざる場合を述べよ

平時国際法（遠藤講師出題）

一 条約成立の時期を問ふ

戦時国際法（中村講師出題）

一 封鎖を説明せよ

戦時国際法（遠藤講師出題）

一 戦時禁制品輸送の船舶に対する制裁を論ず

刑法各論（草野講師出題）

一 不作為に因る放火罪の成否を論せよ

二 窃盜財物を得たる後罪跡の発覚を恐れ其所持者を現場に於
て殺害したり其処分如何

刑法各論（吉田講師出題）

一 背任罪の成立要件

二 欺罔者か財物の交付を受くる権利を有する場合に於て之を
騙取するは詐欺罪なりや

民事訴訟法第一編（前田講師出題）

一 管轄に関する合意の要件及び効力を説明す可し

二 主参加と従参加の差異を説明す可し

民事訴訟法第一編 (吉田講師出題)

一 契約上の裁判籍

二 訴訟無能力者の為したる訴訟行為の効力

刑事訴訟法 (林講師出題)

一 合法主義及び便宜主義を説明し立法上の得失を論せよ

二 公訴提起の方式を説明すへし

刑事訴訟法 (林講師出題)

一 直接審理とは何そや

二 被告人の訴訟能力を論すへし

刑事実習 (林講師出題)

甲者乙者に対し丙の家に忍入り金塊を窃取すべきことを教唆したる処乙者之に依して丙家に至り丙を脅迫して金銭を奪取したりと云ふ甲の刑事上の責任如何

刑事実習 (服部講師出題)

甲者あり其母乙者の無情を怨み之を殺害せんと決意し乙者の咽喉部に布片を巻き將に絞めんとせる時乙者の悲鳴により駆け来りし隣人丙者は甲者を慰撫せんと之に近づきたるに甲者は邪魔するなとて丙者を蹴倒し尚ほも乙者を絞めつけ居たるか突然悔悟の念を生して手を緩め以て乙者を殺害するに至らず而して甲者に蹴倒されたる丙者は傍にありたる柱に頭部を強打し重傷を負ふに至れり

甲者の責任如何

民事実習 (鬼澤講師出題)

一 不在者の財産管理人 (裁判所の選任に係るもの) か不在者

本人より其管理に属する金銭の引渡を請求せられたるに拘らず其後財産管理を辞し新管理人に管理財産を引継きたることを理由として不在者に対する金銭引渡の債務を免るることを得るや

二 債務承認の法律上の性質を略述せよ

民事実習 (三橋講師出題)

甲者乙者所有の無記名公債証書を窃取し其事情を知らざる丙者に質入れ金銭を借受たり知らず丙者は乙者より公債証書取戻の請求を受くるも之か返還を拒み得るや

英国契約法 (久保講師出題)

1. Mistake as to party can not arise in the case of general offers.

Why ?

2. Explain briefly the distinction between a condition and a warranty.

3. Enumerate the names of contracts, usually described as contracts *uberrimae fidei*.

4. Give a definition of duress.

5. What are meant by the following terms? ^(4分)

Sales for ready money.

subject matter of the contract.

Latent defects in wares.

Merchantable quality. ^(4分)

英語 (岡田講師出題)

左の英文を解釈すへし

1. "Well," said he, "my mate Bill would be called the captain, as like as not. He has a cut on one cheek, and a mighty pleasant way with him, particularly in drink, has my mate Bill."
2. "They've got off clean, and There's an end." "Only," he added, "I'm glad I trod on master Pew's corns;" for by this time he had heard my story.
3. "Trelawney," said the doctor, "I'll go with you; and, I'll go bail for it, so will Jim, and be a credit to the undertaking."
4. Keel-hauling, was you? and a mighty suitable thing, too, and you may lay to that. Get back to your place for a lubber, Tom.
5. When I was an A B masier mariver I'd have come up alongside of him, hand over hand, and broached him to in a brace of old shakes.
6. When a mate brings a slip on his cable—one as knows me, I mean—it won't be in the same world with old John.

法科第三年級

海商法 (小町谷講師出題)

- 一 甲者乙船主と期間を定めたる全部備船契約を締結し更に丙者と同一内容の運送契約を締結したり而して甲乙間の契約及び乙丙間の契約共に其船積港を特定せざりき
- 乙船主は右契約の履行を為すため屢々甲に対し船積港の指定を求めたれとも甲は丙か船積港を指定せざる為め之に応ずること能はざりしと謂ふ此場合甲及び乙の法律上採るべき最も

有利なる方法及び其方法より甲乙丙間に生ずべき法律關係如何

- 二 甲者乙船主と運送賃を八万円 (航海陸揚等に要する一切の費用は船主負担のこととす) と定めて百万円の生系の全部備船契約を締結したり乙船 (百五十万円) に右生系の運送中ハワイ港に於て落雷の爲め船体に火を失したり而して船員努力に依り辛して消火し沈没を免れたり而して生系は之か爲め全部濡荷となり桑港に陸揚したるときは二十万円に減価し乙船も亦百万円に減価したり然れとも生系は若しハワイにて乾燥せしめたりせば三十万円の価格を保持することを得たりしものなりと謂ふ甲乙間に如何なる法律關係を生ずべきか

右二問何れも簡単に理由を付して回答すへし

海商法 (寺田講師出題)

- 一 運送品船積前発行の船荷証券の効力に就て
- 二 イ、「ハーター、アクト」(Harter Act) の趣旨
- ロ、航海堪能 (Seaworthiness; navigability; Seetichgkeit) の意義

海商法 (寺田講師出題)

- 一 船長の商法上の地位
- 二 船荷証券の法律的性格
- 三 保険法 (青山講師出題)
- 一 危険、被保険利益、保険料の意義を略述すへし
- 二 重複保険、再保険の別
- 三 損害保険と生命保険との別

以上三題中二題選択

保険法（三浦講師出題）

- 一 損害及需要説を論評せよ
 - 二 保険の目的上に担保権を有する者の地位如何
 - 三 生命保険契約に於ける告知義務に就て説明せよ
- 以上三題中二を選ふへし

行政法（山田講師出題）

- 一 公法上の契約を論ず
- 二 官庁の代理を論ず

行政法（島村講師出題）

- 一 公共団体を大別し説明せよ

- 二 国家の公法上の収入を大別し説明せよ

破産法（阿部講師出題）

- 一 破産管財人を論ず

破産法（遠藤講師出題）

- 一 破産債権者の権利

- 二 破産債権は如何にして確定するや

財政学（馬場講師出題）

- 一 經常費及臨時費の區別を明にし且各二種以上の例を挙ぐへし

- 二 勤勞所得と財産所得とは課税上區別すべきものなりや

財政学（馬場講師出題）

- 一 所得税の長所及短所を論述すへし
- 二 物価の騰貴及下落が国家の歳入上に及ぼす影響如何

國際私法（佐々野講師出題）

- 一 我現行法上外国法の規定の内容を我國國際私法となす場合^{（如何）}加何理由を附して其各場合を説明すへし

- 二 伯林に本店を有し京城に於て商業を営むを主たる目的とする合名会社の一社員が東京に於て振出したる約束手形につき在伯林の日本人某所持人となりたる場合満期日に至り之を其会社本店に呈示して支払を求めたるに会社は之を拒絶せり於是日本人某は特に手形の呈示ありたる旨の明示なき伯林某公証人の作成に係る拒絶證書を携へて帰朝し会社を相手取りて京城地方法院に手形金請求の訴を提起せり此場合に於ける判決の内容如何理由を附して之を説明すへし

國際私法（松野講師出題）

- 一 二個以上の国籍を有する者の本國法は孰れの国籍に依り之を定むへきや

- 二 我國の裁判所は外国人に対し失踪の宣告を為すことを得るや否や

民事訴訟法（第二編乃至第五編）（前田講師出題）

- 一 反訴提起の要件を説明すへし

- 二 欠席判決とは如何なる判決を云ふやを説明すへし

- 一 （イ）訴狀の必要的記載事項、（ロ）主参加訴訟と民事訴訟

法第五〇条の適用

右の内一題を選択して之を略述せよ

- 二 反訴

民事訴訟法（第六編以下）（阿部講師出題）

左の事項に付ての管轄裁判所を説明すへし

- (一) 外国判決に対する執行判決を求むる訴
- (二) 執行文の付与を求むる訴
- (三) 執行文付与に対する債務者の異議申立
- (四) 強制執行の方法に関する異議
- (五) 第三者異議の訴
- (六) 金銭債権差押命令の申請
- (七) 船舶股分の差押命令の申請
- (八) 取立の訴
- (九) 仮差押命令の申請
- (十) 金銭債権仮差押命令の執行申請

民事訴訟法第六編以下（遠藤講師出題）

- 一 債務者は如何なる場合に於て第三者執行異議訴訟の共同被告となるや
- 二 差押の効力

民事実習（鬼澤講師出題）

- 一 債務の履行に代はる損害賠償請求権の消滅時効は何時より進行を始むるか
- 二 商人の行為は其營業の爲めにするものと推定すとの規定は当然商事会社にも適用せらるべきものなりや

民事実習（三橋講師出題）

甲者大正九年十月一日乙者に宛て約束手形を振出し乙者は同日之を丙者に裏書せしか手形面に於ける振出年月日か偶大正九年十一月一日とありしを以て丙者より甲者に対しその誤記の訂正を求め大正九年十月一日と訂正されたり斯の如き場合に若し甲者か満期日に支払を為さざりしとせば丙者は乙者に対して償還請求を為し得べき乎

刑事実習（林講師出題）

乙者甲者より貸金請求の訴訟を提起せられたるに乙者は債務の存するに拘はらず口頭弁論に於て之を否認したり乙者に刑事上の責任ありや

刑事実習（服部講師出題）

小学校教員か其担当児童の悪癖を矯正せんか為め懲戒を加へたるに過つて該児童を傷害するに至れり小学校教員は如何なる責を負ふべきか

英語（千葉講師出題）

1. Adam Smith is the founder of that analysis of the "great commerce" which in England we now call Political economy, and which, dry, imperfect and unfinished as it is, will be thought by posterity one of the most valuable and peculiar creations of English thought.

2. Such is one of the principal peculiarities which Mr. Gladstone's character presents even to a superficial observer. But something more than superficial observation is necessary really to understand a character so complicated and so odd. We will touch upon some of the traits which are among the most important; and if our minute analysis has, or seems to have, some of the painfulness of a vivisection, we would observe that a defect of this kind is in some degree inseparable from the task we have undertaken. We can not explain the special peculiarities of a singular man of genius without a some what elaborate

rate and a half-metaphysical discussion.

英國海上保險法 (船田謙造註譯)

株犯法 (船田謙造註譯)

1. What are personal wrongs ?

1. If a broker pays a premium to an underwriter, and the broker

does not receive the premium from his principals, is the un-

derwriter liable to the assured for payment of claims ?

2. State what you know about "Seaworthiness," "Deviation,"

"Freight," "General Average Sacrifice-" "Sue and Labour clause."

3. What is the effect of the words "To be insured lost or not lost"?

4. State the difference between 'Actual Total Loss' and 'Constructive Total Loss,' and give examples of them.

5. Explain the meaning of the clause "Where, under the same policy, a partial loss, which has not been repaired or otherwise made good, is followed by a total loss, the assured can only recover in respect of the total loss" (s. 77 s.s. 2. m. I. act. 1906).

英國保險法 (船田謙造註譯)

1. What the memorandum of association must contain ?

2. Explain the following terms,

(a) "issued capital."

(b) "paid up capital."

(c) "cumulative preference shares."

(d) "founders' shares"

3. How the capital of a company can be reduced ?

4. What is the liability of shareholders ?

2. Illustrate the maxim "words can unmake an assault."

3. State the four exceptions to the rule that the slander is not actionable per se.

Bills of Exchange Act. 1882. (船田謙造註譯)

1. Define a bill of exchange and distinguish it from a bill of exchange in the Japanese Commercial code.

2. Explain the following terms : —

- a. Inland bill and foreign bill. b. drawee. c. payee. d. referee in case of need. e. Capacity. f. holder in due course, g. Accommodation bill. h. Signature by procurator. i. days of grace. j. a bill payable at a fixed date after sight.

3. What is an acceptance ?

4. Translate the following into Japanese :—

13. (1.) Where a bill or an acceptance or any indorsement on a bill is dated, the date shall, unless the contrary be proved, be deemed to be the true date of the drawing, acceptance, or indorsement, as the case may be.

(2.) A bill is not invalid by reason only that it is ante-dated or post-dated, or that it bears date on a Sunday.

Handelsrecht (大田謙造註譯)

Antworten Sie auf drei von den folgenden Fragen.

1. 説明するに於て、姓名及年齢を調査するに於て、必要を説明すべし。

2. 説明するに於て、風土と死亡率との關係を問ふ。

3. 統計学 (三浦講師出題)

1. 度数表の本質を問ふ

2. 人種の差異は人の出生死亡の率に影響を有するやに付き詳説すべし

3. 国の富力を調査する方法を問ふ

経済地理 (田中講師出題)

1. イギリスの交通機關の概況につき論ずべし

2. ライン、ウエストワフリエン工業地の冶金工業につき記述せよ

3. 合衆国の主要商港につき其状況を述べよ

右三問中任意二問を選び、答案を作成すべし

簿記原論 (太田講師出題)

次の取引を仕訳帳に仕訳すべし

大正10年3月1日 山田商店より商品 ¥8,000.- 掛にて買入れ

当方持引取車力價 ¥13,800.- 現金にて支払ふ

3月2日 富田商店に商品 ¥5,600.- 売渡し 同店振出4月11日

期日の約束手形 ¥5,600.- 受取る

3月3日 富田商店より受取りし同店振出約手 ¥5,600.- 日東銀行

に割引を求め、日数40日間 日歩2.5銭 ¥56.- の割引

料差引手取金同行に当座預金となす

3月4日 山田商店掛借金の内 ¥3,000.- 日東銀行宛小切手振出し支払ふ

最適當なりとするや

統計学 (三浦講師出題)

1. 物価指数を求むる場合に於て如何なる平均数を採用するを最適當なりとするや

3月5日 星川商店より、山田商店振出当店宛為替手形

¥5,000.- 呈示あり引受をなす、支払場所日東銀行期日

3月10日

3月6日 予て掛借金ある村岡商店に掛借金弁済の為め予て掛
貸金ある吉川商店宛の為替手形井13¥7,000.- 振出し、
村岡商店に送附す

3月7日 谷口商店に商品 ¥1,650.- 売渡し代金として同店振出
三井銀行宛小切手受取る

3月8日 天野商店に商品 ¥7,500.- 掛にて売渡し当店負担車力
賃 ¥9,600日東銀行宛小切手振出支払ふ

3月9日 天野商店より掛代金として当地新田商店為替手形
7,000.- 受取り新田商店に呈示をなし引受を得たり

3月10日 山田商店振出当店引受為替手形 ¥7,000.- 期日に付日
東銀行にて支払をなし当店当座預金より差引きせる旨
の通知あり

(注意) 答案には各題「日附」を明確に記入すべし

政治史 (稲田謙雄出題)

- 一 政治上の人種問題
 - 二 内閣制を解説すべし
 - 三 議会の任務を列挙し其要義を述べよ
- 以上三題中任意に二題を選びて回答すべし

民法総論 物権法一部 債権総論 刑法総論 憲法 経
済学 社会学

右六科目は法科一年級と同し

経済科第二年級

交通論 (工藤講師出題)

- 一 交通機関の独占的性質か運賃の上になほす影響を論ず
 - 二 鉄道補助政策を論ず
 - 三 不定期船の経済的作用を論ず
- 以上三題の中二題を選び答案を作ること

農政学 (竹内講師出題)

- 一 農業の本質を説き大農経営及中小農経営の利害得失を論ず
べし

政治史 (稲田謙雄出題)

- 一 羅馬帝国衰亡の理由
- 二 仏蘭西大革命の結果如何
- 三 階級争闘
- 四 独逸帝国の興亡
- 五 大日本帝国憲法制定の次第

以上五題中より任意二題を選びて解答すべし

貨幣論 (杉謙雄出題)

1. 下の二問中一問を選択して答ふべし
- A. Explain the relation between the quantity of money and prices!

B. What is the Index-numbers?

2. 下の二問中一問を選択して答ふべし

A. We shall speak of the value of money as determined by its quantity; meaning thereby that, if other things remain the

same, an increase of the total stock of money brings a corresponding increase in the flow of money used in making purchases and adds pro tanto to the money offered in exchange for commodities.

B. The process of transition, to be sure, —the change from lower to higher prices, or vice versa, —would bring some important consequences of its own; but these would not affect the final outcome. Barring the transitional effects, it is immaterial whether prices are low or high, whether many tokens or a few are used to facilitate each act of exchange.

3. Explain briefly in English about four words among the follows:

Free coinage.

Rapidity of circulation.

Hoarding.

General Acceptability.

Bimetallism,

Monometallism,

Legal tender.

Seignorage.

Banking (太田講師出題)

1. What is the meaning of bank credit, why is it called deposit currency? Explain it fully and compare it with bank note.

2. Describe the different methods in which a banker employs his

resources.

債権各論 物権法二部 商法総論及商行為論 会社法

手形法 国際公法

右六科目は法科第二等級と同じ

経済科第三等級

銀行論 (杉講師出題)

一 中央銀行の職分に就て説明せよ

二 銀行利率 (又は公定歩合) と市場利率との関係を説明せよ

三 銀行は何故に会社組織殊に株式会社組織を可とするや

以上三問中二題を選択して答ふへし

商業政策 (太田講師出題)

一 協定税率と国定税率の利害を論せよ

二 保護貿易主義の論拠並に其施設

三 関税同盟とは何ぞや

以上の中二題選択

社会及工業政策 (太田講師出題)

一 我国工場法の特質

二 英国職工組合の発達

三 カルテルとトラストとを比較説明せよ

植民政策 (稻田講師出題)

一 我が日本と亜細亞大陸との関係

二 植民会社の沿革及び長短得失

三 植民地の法規の淵源

四 労力供給問題

五 植民地貨幣制度

以上五題中より任意二題を択ひて解答すへし

外交史 (稲田講師出題)

一 三十年戦役ウエストフアリア会議の外交上に及ぼす影響

二 神聖同盟を論評すへし

三 独逸帝国の外交政策

四 千八百七十八年伯林条約を論評すへし

五 最近の同盟及協商を論評すへし

以上五題中より任意二題を択ひ解答すへし

政治学 (稲田講師出題)

一 立憲政治の性質

二 人口分配問題

三 内閣制

四 国会議員の地位

五 政党と立憲政治との関係

以上五題中より任意に二題を択ひて解答すへし

計理学 (渡部講師出題)

一 資産の評価に関する我商法規定の論評

二 社債の打歩及割引料の会計学上の地位

三 製造仕掛物より損益を算出するの可否

以上の内二題を選擇して答ふへし

Finance (木田講師出題)

I. Answer two of the following questions

a. Explain the growth, nature and forms of public debts.

b. Explain the differences between the benefit theory and the faculty theory.

c. Classify public revenues.

II. Translate the following sentences.

a. The rate is the amount of tax that falls upon each unit of the base. The rate, whether for specific or ad valorem taxes, may be proportional or disproportional. It is proportional when it is always in the same proportion to the base, whether the amount held by a taxpayer or subject to the tax be large or small. Disproportionate rates are rates which in themselves vary as the amount of the base held by different taxpayers varies. These rates may be progressive or regressive.

b. Under this class belongs also that expenditure which is made for the development of industry by bounties and the protection of home industries against foreign competition. The latter expenditure differs from the former only in that the sums spent do not pass through the hands of the officers of the treasury.

英語経済 (佐倉講師出題)

1. Explain the formation of a proletariat or labouring class as a essential condition of modern capitalism.

2. Give a brief sketch of the following (in Japanese): —

The possession of an excessive proportion of "power to con-

sume" by classes who, because their normal healthy wants already fully satisfied, refuse to exert this power, and insist upon storing it in unneeded forms of capital, is directly responsible for the slack employment of capital and labour. If the operation of the industrial forces throw an increased proportion, of the "power to consume" into the hands of the working classes, who will use it not to postpone consumption but to raise their standard of material and intellectual comfort, a fuller and more regular employment of labour and capital must follow. If the stronger organisation of labour is able to raise wages, and the higher wages are used to demand more and better articles of consumption, a direct stimulus to the efficiency of capital and labour is thus applied. If the power of purchase now" saved by the wealthier classes passed into the hands of workers in higher money wages, and was not spent by them in raising their standard of comfort, but was "in vested" in various forms of capital, no stimulus to industry would be afforded.

From the standpoint of the community nothing else than a rise in the average standard of current consumption can stimulate industry. When it is clearly grasped that a demand for commodities is the only demand for the use of labour and of capital, and not merely determines in what particular direction these requisites of production shall be applied, the hope of the future of our industry is seen to rest largely upon the confi-

dent belief that the working classes will use their higher wages not to draw interest from investments but to raise their standard of life by the current satisfaction of all those wholesome desires of body and mind which lie latent under "the economy of low wages" The satisfaction of new good human desires, by endowing life with more hope and interest, will render all intelligent exertion more effective, by distributing demand over a larger variety of commodities will give a fuller utilisation both of natural and human resources, and by redressing the dislocated balance of product on and consumption due to inequality of purchasing power, will justify high wages by increased fulness and regularity of work. But it must be clearly recognised that however desirable "saving" may seem to be as a moral virtue of the working classes, any large practice of saving undertaken before and in preference to an elevation of current consumption, will necessarily cancel the economic advantages just dwelt upon.

The surest support of the "economy of high wages" is the conviction that it will operate as a stimulus to industry through increased consumption.

The working classes show a growing tendency to employ their higher wages in progressive consumption. Upon the steady operation of this tendency the economic future of the working classes, and of industry in general, largely depends.

3. Translate the following : —

Since the very raison d'être of this increased social cohesiveness is to economise and enrich the individual life, and to enable the play of individual energy to assume higher forms out of which more individual satisfaction may accrue, more and more human effort will take shape in industries which will be left to individual initiative and control, the arts in which the freedom of personal spontaneity will find scope in the expression of physical or moral beauty and fitness and the attainment of intellectual truth.

国際私法 行政法 海商法 財政学 保険法

右五科目は法科三年級と同じ

商科第一年級

民法要論(三宅講師出題)

一 行為無能力者を列記し且つ未成年者の為したる法律行為の効力を説明すへし

二 左の意思表示の効力を問ふ

イ 相手方と通して為したる虚偽の意思表示

ロ 法律行為の要素に錯誤ある意思表示

ハ 詐欺に因る意思表示

三 左の語の意義を説□□へし

イ 果実

ロ 保存行為

ハ 善意

民法要論(西川講師出題)

一 未成年者甲其所有の不動産を法定代理人の同意を得ずして乙に売渡したり其行為の効力如何

二 物権と債権との區別を問ふ

三 双務契約に於ける同時履行の抗弁とは何ぞや

商業通論(太田講師出題)

一 企業の各形態を挙げ各其特長を述へよ

二 売買契約の諸条件を細□□せよ

経済学(松浦講師出題)

一 独占価格の決定を説□□へし

二 貨幣の発達を略説し以て其本質を明かならしむへし

統計学(三浦講師出題)

一 度数表の本質を問ふ

二 人種の差異は人の出生死亡の率に影響を有するや否やに付き詳説すへし

三 国の富力を調査する方法を問ふ

商品学(星野講師出題)

一 輸出マツチ品位検定の条項を列举すへし

三 蔗莖を原料とするる糖の製法を述へ其製品の種類を記せよ

取引所論(鈴木講師出題)

一 左の冬題中任意に一題を択ひ之に関し知れることを記せ

イ 転売買戻 ロ 限月売買 ハ 競売買

二 諸君の理想とする取引所の組織如何

銀行簿記(太田講師出題)

大正拾年參月拾八日中央実業銀行取引次の如し依て伝票作成の上日記帳へ記帳締切をなすへし

(注意) 1. 前日現金経越高 ¥58,000.-

2. 当店宛に小切手を振出したるものは総て当店の当座預金者にして預金残は充分なるものと做す
3. 為替関係の他支店勘定は単に当方口 先方口の別をなすを以て足る
4. 伝票並に日記帳は所定の用紙に記入提出すべく書直しを禁ず

1. 北城銀行より報告あり

2月12日 取立依頼 (他割手北井15) 手取入金済 ¥25,000.-

〃 15日 当行当座預金者川口太郎口座に振込入金あり ¥1,560.-

2. 吉田次郎の依頼に依り浪速銀行に送金為替取組む (井80) ¥1,000.- 手数料百円に付 4 銭共同人振出当行宛小切手井15にて受取る

3. 山田三郎に次の荷付為替手形を割引し手取金現金支払ふ (北井18)、受荷主川北進一、荷物本綿2,000反 @¥4.50 ¥9,000.- 鉄道便、通運取扱為替手形井83、本日付⁴/₁期日額面 ¥8,000.- 割引日歩 2 銭 5 厘手数料千分の一

4. 天野柴郎特別当座預金として下の通り受入る

三井銀行宛吉川太吉郎振出小切手 井38 ¥2,650.-

当行宛田村芳次郎振出小切手 井56 1,870.-

現金

480.-

5. 土谷丑助依頼により預金手形井25振出し代金現金収入す、 ¥7,500.-

6. 芳田六之助より甲号五分利公債額貳万円買入れ現金仕振ふ、買入価格 ¥93- 前残平均帳簿価格 ¥90-

7. 大谷七藏の依頼により同人宛為替手形 ¥15,000.- 本日付 4 月10日日期日に参加引受をなす

8. 及川太郎振出当店宛小切手井25 ¥2,250.- に支振保証す 井10.

9. 新田九郎より浪速銀行取立依頼割手井13 ¥1,580.- 現金にて入金す

10. 本日交換所計算下記の通り

持出 三井銀行宛小切手 ¥2,650.-

受入 東海銀行持出当行振出預金手形 井25 ¥7,500.-
恒縁變品 (變長盤壹丑圓)

(1) 甲商店予て乙商店へ商品掛貸金參千円あり、又丙商店より商品掛借金貳千五百円あり甲商店丙商店に対して右掛借金返済の為乙商店の承諾を得て自己振出乙商店宛丙商店受取為替手形金額貳千五百円を振出し之を丙商店に渡したりとせば甲商店の仕訳如何

(2) 1. 10月1日 甲地甲商店乙地乙商店より晒木綿1,000反買付委託を受け手附金として広海銀行送金小切手 ¥500.- 受取る

1. 10月3日 右の為め甲商店丙商店より左の通り買入れ代金小切手第一号にて支払ふ、別に引取諸入費拾円現金払

1. 晒木綿 1,000反 1 反 ¥1,000替 ¥1,000 : —

1. 10月5日 甲商店右商品を乙商店に発送す、荷造費及運賃として¥20.- 現金払

1. 10月6日 甲商店に対する買附計算書を乙商店へ送る、差引立替金¥550.00に一時乙商店へ貸しとす。買附計算書の要領左の如し

1. 金壹千円買附原価 1. 金拾円引取諸入費 1. 金貳拾円荷造費及運賃金貳拾円 手数料 合計壹千〇五十円 内金五百円受取済、差引残金立替五百五拾円

以上の取引中10月6日に於ける甲商店の仕訳如何

(3)甲地甲商店乙地乙商店へ商品¥1,000.- 売渡し右発送に際し日東銀行につき日付後十五日払八百円の荷為替を取組む割引料日歩貳銭五厘十五日分参円差引手取金七百九拾七円は其儘同銀行へ当座預けとす。残額貳百円は乙商店へ貸しとす、甲商店の仕訳如何

(4)決算期末元帳利息割引料勘定差引残高¥200.- 外未記入未収利息、¥50.- あり 此勘定を締切りたるところを示さるへし

(5) 左記要領に基き純損益の高を求む

1. 決算期末元帳	商品勘定	借方計	¥11,000.-
1. 〃	土地建物	〃	10,000.-
1. 〃	保険料	〃	150.-
1. 〃	利息割引料	〃	0.-
1. 〃	倉敷料	〃	100.-
1. 〃	給料	〃	230.-
1. 〃	雑費	〃	60.-

同上貸方計 ¥10,300.-

〃 〃 0.-
〃 〃 0.-
〃 〃 20.-

〃 〃 20.-
〃 〃 0.-
20.-

1. 商品棚卸高 ¥400.- 1. 土地建物棚卸高 ¥9,800.-

1. 保険料未経過分 ¥100.- 1. 利息未払高 ¥120.-

(6)補助簿中 1. 現金当座預金出納帳 2. 商品仕入帳 3. 商品売上帳 4. 受取手形記入帳及び 5. 支払手形記入帳を同時に仕訳帳に兼用したる場合に左の取引を現金当座預金出納帳に掲げ月末之を締切りて翌月へ繰越したところ及び此帳簿より元帳へ転記したるところを示さるへし (元帳不要)

1.11月1日 本日資本主より左の通り元入して米穀卸売商開始す

1. 現金 ¥5,000.- 尾州米500 1俵10円替 ¥5000.-

1.11月3日 日東銀行と当座預金契約を結び現金 ¥4,500.-

預け入る小切手 1号乃至50号一冊受取る

1.11月6日 北川商店へ左の通り売渡代金の内 ¥2,000.-

本日同店振出当店宛本月末日期限約束手形にて ¥500.-

現金にて受取り残額 ¥800.- は掛とす

1. 尾州米300俵 1俵11円替 ¥3,300.-

1.11月10日 池田商店より左の通り買入れ代金の内 ¥300.-

小切手井1にて ¥800.- 現金にて支払ふ

1. 千葉米100俵 1俵 9円替 ¥900.-

1.11月15日 横浜大村商店へ左の通り委託販売品として積
送し諸掛 ¥20- 現金払尾州米100俵10円替 ¥100.-

1.11月20日 青山商店より左の通り買入る、代金の内
¥800.- 当店振出北川商店宛、12月12日期日為替手形1号
にて交付し残額 ¥1,400.- 小切手2号にて支払ふ、伊賀米
200俵 1俵11円替 ¥2,200.-

1.11月25日 本日給料 ¥180.- 現金払

1.11月27日 村松商店へ左の通り売渡し、現金にて受取り
即時当座預金とす、千葉米100俵10円替 ¥1,000.-

1.11月30日 北川商店振出約束手形 ¥2,000.- 期日につき同
店より東洋銀行小切手にて支払を受け即時当座預とす

◎以上六題中任意四題を選定せらるへし

袋紙 (三本糺造丑鬨)

(1) 某商会破産するに当り其負債下の如し

Aより借	¥95,640.00
B	58,305.00
C	21,070.00
D	65,107.00
E	76,920.00
F	30,510.00
G	87,235.00
H	43,829.001

而して其財産総額は ¥397,826.60なりと云ふ今其清算費とし
て財産総額の $2\frac{1}{4}\%$ を要すれば各債主の受取るべき金高幾何

(2) 一株に付金 ¥12,500 払込の権利株285株を1株に付 ¥25,500の
相場にて買ひ其後1株に付金 ¥112,500の払込をなし年 $10\frac{1}{4}\%$ に
当る半期配当を得たる後 1株に付 ¥175,500の相場にて悉く之
を売払ひたりと云ふ其損益幾何なるか

(3) 裏面の球(補数)の活用につき其識れる処を適宜算例を示
して述へよ

同上 (川村講師出題)

1. 某商会破産するに当り其負債下の如し

Aより借り	¥95,640.00
B	58,305.00
C	¥21,070.00
D	¥65,107.00
E	¥76,920.00
F	¥30,510.00
G	¥87,235.00
H	¥43,829.00

而して其財産総額に ¥429,652,730なりと去ふ其清算費として
財産総額の $2\frac{1}{4}\%$ を要すれば各債主の受取るべき金高幾何

2. 銀行定期預金の利子割合年 $6\frac{3}{4}\%$ なる場合に額面200,000 $\frac{3}{4}$ 払込
配当予想 $15\frac{1}{2}\%$ の株券185枚を時価金 ¥308,500にて買ふと夫だ
けの金額を銀行に預ると壹個年に何れか幾何程利益なるか
3. 除算句法は九帰句法撞帰句法帰一還元句法の三つより成れり

◎以上六題中任意の参題を 選定せらるへし

英語経済 (松浦講師出題)

1. When the scale of production in any industry is increased, the producer looks for certain economies in manufacturing, quite apart from the purchase of supplies at cheaper rates, the greater utilisation of by-products, etc.
2. In this case the large concern is merely reduplicating the functions of a small concern, and if the latter is conducted on a scale which permits of efficient and profitable production, any small savings the former may effect by increasing the scale of production, will probably be counteracted by loss occasioned through less close personal supervision.
3. If the manufacturer obtains a fairly secure hold on the market, he may be able to keep up prices, should the cost of production fall, or even raise them, if he cannot increase his profits in any other way.
4. In the case of an integrated industry when the selling price rises the cost of production does not increase, but when the price goes down the producer cannot reduce the cost, because he owns everything himself. In the case of a non-integrated industry, cost and price rise and fall more or less together.

英作文 (片山講師出題)

各学校の入学期か近ういて来たか東京を始め各地に於て中学校の入学志願者は殊に多く首尾よく試験に合格入学する事は頗る

困難であらうと思はれる東京府立第四中学では入学志願者を成るべく入れるため今年から一組増加する事にした其結果五年後には従来八百名の生徒数が千人になる筈である

商業英語 (鈴木講師出題)

1. A Ship-broker is an agent who transacts business connected with ships, such as negotiating charters, procuring cargo, buying and selling ships, procuring insurances on ships. He is paid by a commission on the business done.
2. A Charter Party is a document whereby the owner of a vessel agree, to allow a merchant or other trader to have the use of the vessel for the conveyance of merchandise, cattle, or passengers between certain specified ports or for a specified time.
3. The manifest is a list of the vessel's cargo. It specifies the marks, numbers, contents, and value of each package, or particulars of other cargo, and sometimes states the amount of freight payable at port of destination.
4. The heavy cost of telegraphing to places abroad has caused merchants to devise ingenious arrangements with a view to telegraphing the maximum amount of information by the minimum number of words. These ingenious arrangements are what are known as "Codes."
5. The method of importing goods, direct from a firm abroad is that the order would be telegraphed direct, instead of the buy-

er being drawn upon, the drawee would probably be a bank
destinated by the buyer.

商業英語 (高谷講師出題)

一 次の誤を正せ

- a. I have just received Yours of the 11 st inst.
- b. The balance is eight thousands tow hundreds and fourty dollars.
- c. Received from Messers. Hara & Co. fourteen yens.

二 次の文を候文に訳せ

- a. We must ask you to make a reduction of 5 s. per cwt. on this shipment, otherwise we shall be obliged to hold the porcel at your disposal.
- b. Against this shipment we have made draft on you at sight for ¥600 favouring the Yokohama Specie Bank.
- c. We have this day drawn upon you by Bill of Exchange No. 291 at 60 days sight, to the order of the City & Commercial Bank of London, which we ask you to kindly protect.

三 次の文を英訳せよ

拜復電報を以て上等石炭一噸に付き金八円との御申越奉謝候
然るに他の取引先より一円安の申込に接し候に付ては折角の
御通知も徒勞に帰せむかと御氣の毒に存候去りながら今更貴
店に御注文を廢止致候は当店の最不本意とする処に有之候へ
は何卒貴店に於かせられて前記同様の御直引被成下度希望仕
候此儀相叶ひ候はは早速一万片だけ本所製煉所へ御送付を請

ひ度候

憲法 経済学 経済地理

右三科目は経済科一年級に同じ

商科第二年級

商法要論 (小町谷講師出題)

一 甲株式会社其各株主に対し第二回の株金払込の催告を為したり然るに株主乙及び丙は其支払期日に至るも之か支払を為さず而して乙に対する催告状には其催告状到達の翌日より十三日以内に又丙に対する催告状には其催告状到達の翌日より十五日内に払込を為すべき旨を記載しありたり而して又丙は其催告を受くる一年以前に丁より株式の譲渡を受けたるものなりと謂ふ甲会社か株金払込の実を挙ぐる為め乙丙若くは丁に對して採る可き方法如何

二 A地の甲B地の乙に來百俵を送附する為め其運送の取次を運送取扱A丙に委託したり然るに丙に其保管中三十俵を盜取せられたるを以て残七十俵を丁運送人をして運送せしめたり然るに丁は運送の途中二十俵を盜取せられ結局五十俵を乙に引渡すこととなりたり然れとも乙は其數量の不足を理由として其受領を拒みたり

甲と乙との間に如何なる法律關係を生すべきか

商工経営学 (渡邊講師出題)

一 貨銀支払制度

二 利益分配制度

貨幣論 (太田講師出題)

- 一 自由鑄造制度の意義並に其効果
- 二 信用は貨幣を節約するや否
- 三 日本銀行の兌換券発行法

銀行論 (太田講師出題)

- 一 支払準備金と預金との關係を述べよ
- 二 貸出の諸条件中注意すべき点を詳説すべし

商業史 (松浦講師出題)

- 一 庄園と Manor との制度を比較説明せよ
- 二 中世に於ける商業組織を問ふ

經濟政策 (上田講師出題)

- 一 農村問題の範囲内に於て各自適宜に一事項を擇ひ説明及批評を加ふべし
- 二 トラスト及びカルテルの目的、組織及商業を論ずべし

銀行簿記 (太田講師出題)

大正拾年參月拾參日 中央實業銀行の取引次の如し依つて日記帳を作成すべし

(注意) 1. 前日現金繰越高 ¥58,000-

2. 当座預金者は総て預金残あるものとす為替尻に就ては当方口先方口の別を設くるを以て足る

1	及川一郎により次の商業手形を割引し手取金現金支払ふ (当割手 井15) 宮島大吉振出及川一郎宛約束手形 3/11 附4/21 (四 月式拾一日) 期日 額面 ¥25,000,- 割引日 歩 2 錢 8 厘
---	---

2	天野仁吉当座預金として受入る 星野次郎振出当行宛小切手 井83 ¥2,850,- 三井銀行宛小切手 1,210,- 現金 340,-
---	---

3	佐藤參次の依頼により北城銀行に送金為替 (井18) 取組 み代金手数料共現金収入す 受取人 松野三郎 金額 ¥15,000,- 手数料百円に付 4 錢
---	---

4	浪速銀行より報告あり 3/10取立依頼代手 井18, 入金済 (右は吉野四郎依頼の 取立代手なり但し同人とは当座並に特当の取引なし 3/12送金為替 井15取組 受取人 佐川春水額面 ¥1,850,-
---	---

5	遠山吾一に甲号五分利公債額面 ¥20,000売渡し代金 現金受取る売渡価格 ¥93,- 帳簿価格 ¥92.00
---	--

6	新田六郎より北城銀行者大松武吉氏当座口に振込入金あ り現金 ¥3,800,-
---	---

7	岡田七藏に外壁塗替費 ¥350,- 現金支払ふ
---	-------------------------

8	岩崎八太郎の依頼により次の手形取立の為に預る手数料 50錢現金収入す 吉川八三振出北村太郎引受為替手形 ¥12,500,- 期日 3/20
---	--

9	曾我九郎に証書貸 井15 ¥15,000,- をなし内 ¥10,000を同人特 別当座に振替へ残現金支払ふ
---	--

10	本日交換所計算 持出 三井銀行宛小切手 井98 ¥1,210- 受入 浪速銀行振出当店宛送金手形 井15, ¥1,850,-
----	--

英語 (岡田講師出題)
甲 左の邦文を英訳すべし

東京に未だ市街電気鉄道の敷設されない前の事であつた某外

国人かなる程東京は其広い点から云へは世界有数の大都会であるか交通か不便であるから多くの別別の村か唯偶然一所に集つて居るやうなものだと批評したと申します

乙 左の英文を解釈すへし

I. In accurate terms, the art of becoming "rich" in common sense, is "the art of establishing the maximum inequality in one's own favour."

II. In order to grow rich scientifically, we must grow rich justly; and, therefore, know what is just; so that our economy will no longer depend merely on prudence, but on jurisprudence.

商業事情 (松浦講師出題)

一 産業革命以後の英国経済思想の変遷を概説すへし

二 英国に於ける Trade union の発達を説明すへし

Commercial Practice (木村講師出題)

1. What is a Bottomry Bond ?

2. What is a Mates' Receipt ?

3. Give the meanings of the following terms : ?

a. Money of account

b. Short exchange

c. Re-exchange

d. Barratry

e. Open policy

f. Lay-days

g. Dead-freight

h. Stevedore

i. Ad valorem duty

j. Pro forma invoice.

商業英語 (高谷講師出題)

一 普通、隠語、秘辞電報を例を挙げて区別せよ

二 英語広告文の工夫を論せよ

三 次の商事契約文を訳し重要な点を説明せよ

Know all men by these presents : That I, A. B, of the town of Kent, in the county of St. Anothony, and the State of Idaho, am held and firmly bound units C. D., of the town of Yorks' on in the same County and State, in the sum of one thousand dollars, lawful money of the United States, to be paid to the said C. D., his executor, administrators, or assigns; for which payment, well and truly to be made, I bind myself, my heirs, executoss, and administrators firmly by these, presents.

経済地理

右は商科一年級に同じ

商科第三年級

商法要論 (小町谷講師出題)

一 甲者自家用の米百俵を倉庫営業者乙に寄託したり而して甲は其火災に罹ることを虞れ保険着丙と保険金を三千五百円と為す保険契約を締結し乙も亦右米の焼失に依りて生すべき損害を虞れて保険者丁と同額の保険契約を締結したり然るに其

後に至り乙の使用人の過失により右倉庫焼失し甲の寄託したる米も亦全部焼失したり而して右米は寄託の当時一俵三十円にして爾来焼失の時迄価格の変動なかりしものなりと謂ふ甲乙丙丁間に如何なる法律關係を生ずべきや

二 甲者大正十年三月一日乙者に対し支払期日を同年同月三十日支払人を丙者となす為替手形を振出し丙者は其引受を為したり而して乙は之を丁に丁は之を戊に各裏書譲渡したり仍て戊は右手形の満期日に丙に之を呈示して其支払を求めたるところ丙は其支払を拒絶したり戊の法律上採る可き最も有利なる方法如何、若し又右の手形に於て戊に裏書したる者か亥にして然かも丙か戊の支払呈示に対して其支払を拒絶したるときは手形法上如何なる法律關係を生ずべきか

保険 (石川講師出題)

一 左の場合に於て生命保険会社は如何なる処置に出づるや
 イ 二ケ年の責任除外期間を附せる契約にありて被保険人が契約成立後三ヶ月目に溺死したるとき
 ロ 被保険者の死後に至り契約当時本人の年齢が低く申告せられ居たるを發見せるとき

ハ 保険料が毎三ヶ月払と定められ居たるとき五年後に至り最初の三ヶ月分が支払はれたる後解約となれるとき

二 被保険者が失踪の宣告を受けたるとき
 二 汽船A丸火災に罹り左の如き結果となれりとせば船主及甲乙丙に保険者は如何なる支払をなすべきや

(被保) (填補) (保) (被害) (保) (損害)
 (險物) (種) (格) (物) (金) (止)
 (類) (類) (格) (物) (險) (費)

船	T, L, O	1,000,000	700,000	800,000	3,000
甲荷物	同	5,000	2,000	4,000	200
乙荷物	f, P, a	6,000	4,000	7,000	100
丙荷物	w, a	10,000	2,500	9,000	500

三、サルベージロツス、シテムを説明すへし
 海運 (堀講師出題)

一 載貨噸数と登簿噸数との關係を問ふ
 二 不定期船の操縦機關を問ふ

鉄道 (中山講師出題)

一 旅客貨物及小荷物運賃制定の基礎を解説すへし
 二 甲 鉄道の政策並に監理に関する法規を略説すへし
 乙 鉄道の受託義務とは如何なることを謂ふか
 右甲乙何れか一題を選択することを得

三 左の文字の意義を説明すへし

- イ 特定運賃
- ロ 津浦鉄道
- ハ 人噸哩
- ニ 環状線
- ホ Interstate Commerce Committee

右の中三題を撰訳することを得

取引所論 (井浦講師出題)

一 解合より生ずる弊害に就きて述へよ
 二 千八百九十六年独帝国取引所法中投機に関する規定の大綱及び其効果に就きて説明すへし

計理学 (鹿野講師出題)

- 一 価格減却の計算を帳簿に記入する方法並に価格減却を総利益に課する方法を説明せよ
 - 二 元価計算と総計算との関係を説明せよ
- 商業事情 (松浦講師出題)
- 一 戦後英国の社会並に経済上の問題に対する労働党の意見を述べ、各自の見地よりして出来得へきだけ詳細に之を論評せよ

演習 (上田講師出題)

- 左記の諸問題中二題を選び説明及批評を加ふへし
- 利益分配 労働組合 米価調節 税制整理 ダンペン
 - 農村問題 簡易保険 在外正価

Book-keeping and Accounting (太田講師出題)

The following is a Trial Balance of Mr. Harris. Dec. 31. 1919.

Trial Balance	Dr.	Cr.
Capital (Mr. Harris)		\$ 50,000.-
Drawing a/c of Mr. Harris	\$2,540.-	
Sundry Creditors		\$ 28,854.-
Sundry Debtors	29,614.-	
Bills Payable		13,800.-
Stock a/c (Inventory). Jan 1, 1919. ...	18,750.-	
Purchases	75,876.-	
Sales		87,261.-

Discount on Sale	2,132.-
Salaries	2,510.-
General Expenses	1,334.-
Carriage and Freight	789.-
Storage of goods	1,214.-
Fire Insurance	180.-
Taxes	450.-
Interests and Bank-charges	1,366.-
Building	30,000.-
Furniture and Fixture	5,680.-
Bank Balance (Cash at Bank)	7,952.-
Petty Cash (at hand)	228.-
	<u>179,915.-</u>
	<u>179,915</u>

Prepare a Trading and profit and loss account and a Balance Sheet.

Adjustment data :-

Stock (of goods) on hand (Dec. 31, 1919), estimated, \$ 25,000.- write off 10 % depreciation of Furniture and Fixture. and 5% depreciation of Building. 4 % of Fire Insurance is still in force.

Tax declared but still unpaid is \$ 50.- (Note.-This amount is to be charged Profit and loss account, but as it is not yet passed into books, this amount is not included in the above trial balance)

by T. Ohla.

1-2. 50 P.M.

商業英語 (井上講師出題)

1. In what case would a shipowner issue his Foul Bill of Lading?

2. The object of "Correction Advice"

英語 (岡田講師出題)

1 左の邦文を英訳せよ

月あかき夜半なりき三保の入江にけふり立ち、有渡の山かけ、おほろにして見えわかす、袖師、清水の長汀夢の如くかすみれり世にもうるはしきけしきかなわれは磯辺の石に打ちよりてこしかた遠く思ひかへしぬ

左の英文を解釈せよ

2 I have not been quite well for some days past, and poor old Jup annoys me almost beyond endurance, by his well-meant intentions. Would you believe it?— he had prepared a huge stick, the other day, with which to chastise me for giving him the slip, and spending the day, solus, among the hills on the main land.

3. There can be no doubt that the consciousness of the rapid increase of my superstition—for why should I not so term it?—reived mainly to accelerate the increase itself. Such, I have long known, is the paradoxical law of all sentiments having terror as a basis.

新制大学予科第一年級

倫理 (大島講師出題)

一 道徳的因果論に就て略述せよ

一 良心の性質を述へよ

一 良心起源に関する先天説及後天説を略述せよ

一 自己的快樂説の良心論を批評せよ (応用問題)

右の内二題を解答せよ

国語 (増子講師出題)

解釈

一 和御魂は大御勇に昵きて御寿を守り奉り荒御魂は先鋒と為りて御船を導きてむ

二 海人なれや己が物から音に泣くぞ

三 春の野にすみれ摘みにと来し我ぞ野をなつかしみ一夜寝にける (山部赤人)

四 人各任事有り宜しく濫らざるべし其れ賢哲官に任する時は頌音則ち起る奸者官に在る時は禍乱則ち繁し世に生知するは少し尅く念ひて聖となる事大小となく人を得て必ず治まる時に急緩となく賢に遇うて自ら寛なり此に困て国家永久にして社稷危きことなし故に古の聖王は官のために以て人を求め人のために官を求めず

五 莧と藜と齊と蓬と張と李と劉と朱と草其種を異にし人其系を殊にするものと雖も其恩冥加し其沢幽被して一氣自ら相通するものなくんばあらず

漢文 (手塚講師出題)

一 左の文に返り点、送仮名及び解釈を附せ

周公誨成王。王有過。則撻子伯禽。伯禽就封。公戒之曰。我文王之子。武王之弟。今王之叔父。然我一沐三握髮。一飯三吐哺。起以待士。猶恐失天下賢人。子之魯。慎無以國驕人。

二 左の語を解せ

(イ) 陶朱、猗頓

(ロ) 国士

(ハ) 寡人

日本史 (堀講師出題)

一 室町時代以後明治維新に至るまで我国の内治外交の変革の要領を簡単に述べよ

一 国史に対する諸氏の抱負と感想とを記述すへし

東洋史 (和田講師出題)

一 永楽帝の事蹟

二 倭寇^(イ)

三 張居正

自然科学 (篠原講師出題)

一 自然科学上の結論は吾人の行為の規範として如何なる価値を有するか

二 自然界に於ける人類の地位を論ぜよ

数学 (金澤講師出題)

1. 底の半径10、高き30なる直円錐の体積を求めよ

2. 球と直円錐とあり直円錐の底の半径に球の半径に等しく直円錐の高さは球の直径に等し球の表面積と直円錐の側面積とを比較せよ

3. 某日某観測所に於ける温度の毎時観測の結果次の如し温度の

グラフを作れ

時刻	正午	1時	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
温度	6°	7	7.5	7	6.5	5	2	-1	-2	-2.5	-3	-3.5	-4

4. グラフによりて次の聯立方程式を解け

$$\begin{cases} X+5Y=20 \\ 3Z-5Y=9 \end{cases}$$

【注意】(1), (2)にては算式を要す

(3)にては単にグラフを示し(4)にてはグラフと根とを示すへし

方眼紙は之を再び請求するを許さず

綴り (根津講師出題)

(1) 五人の子供か手と手を繋ぎ合はせて輪状をなすあり並る方幾通りあるか

(2) k, s, t と a, e, o, とにて kassio の如き綴り幾通りを得べきか。

但し子音母音ニ子母子母の綴りに限るものとす

(3) 六人を三人つつの二組に分つ仕方幾通りあるか

(4) 辺数かnなる多角形の対角線は幾つあるか。

(5) $(1-X)^n$ の展開式に於ける初めの四項だけを求めよ。第五項以下は十…又は…にて表はしおくへし

英文和訳 (廣田講師出題)

1. It is because it does immediately pay to turn a nation into a wonderful fighting machine that the German sense of duty has

been able to lower itself to that task.

2. Faith is only pure and sound when the faithful^(A) are ready to face failure for it.

3. We believe, and with reason, that we must win in the end ; but our victory would be worth nothing to the world if we had only fought because of that belief.

同上 (片山講師出題)

1) His attentions which prevented sorrow, if not from coming, at least from staying with me, were of inestimable value to me.

2) They seemed to be granting him a favour in letting him keep the humble office which enabled him to live.

3) Had I listened to his advice, I should have been spared all this suffering.

4) He was never seen speaking to any other woman.

5) He wished them all the happiness which were denied to him.

6) (a) Augean stable,^(B) (b) to look down upon.

同上 (大久保講師出題)

(1) Perish what may, gold, silver, houses, lands ; let the winds of misfortune dash our vessel on the sunken rock ; but let integrity be like the valued keep-sake the sailor-boy lashed with a rope round his body, the only thing we care to save.

(2) This little story is capable of a very wide application ; for our happiness as human beings, generally speaking, will be found to be very much in proportion to the number of things we

love, and the number of things that love us.

同上 (藤井講師出題)

1) The cause of the three brothers was taken up by the hot-blooded populace, as the cause of all fathers and all sons ; their filial piety was exalted to the skies ; their youth was pleaded in their behalf ; their ignorance of the terrible responsibility which they had confronted in forcing the secret from the priest was loudly alleged in their favour.

2) a. He was condemned to be broken on the wheel. b. I would die first. c. He does not work hard at the best of times. d. He called on all his friends to help him. e. None of the valuables about the dead man's person had been touched.

和文英訳 (同上)

1) 加藤さんは多年英国に留学したのですから英語の会話上手になつたに違ひありません

2) 君の助力が無かつたら僕は成效するのではなかつた

同上 (廣田講師出題)

1) 同氏は明治二十四年三月日本人として始めて南洋のトラツク島に其の足跡を印したる人なり

2) あの元氣の好い男が近頃はどうかいふ訳か減切り憎気で居る。

3) 日常生活に縁の遠い学問程金にならぬやうである

和文和訳 (大塚講師出題)

1) Mit bangem Grauen folgten sie seinem Befehle, und als man dem Strande nahe kam und die Jungfrau freundlich winkte, da

sprang der Graf aus dem Kahne in die Fluten des Rheins. Er erreichte aber das Ufer nicht und die Wellen des Stromes der sich grollend hier au dem Felsen brach, rissen ihm herab.

2) Inschrift. b) Schornstein. c) Steuermann. d) zum Andenken.

e) kenntlich machen, f) miteinander.

同上 (新關講師出題)

1. Konnte der Mann seine Sachen nicht finden, so sprang sie gar eifrig herzu, kehrte das Unterste zu oberst und brachte das Gesuchte schliesslich aus irgend einem Winkel hervor, wo es nienuand vor, mutet hätte.

2. Lange halte der Ton nach in der stillen Nacht, der Wunsch war ausgesprochen—und tief seufzend strich sich der Meister über die stirn. Jetzt erst kam ihm die Besinnung zurück und damit das Bewusstsein, dass er einen sehr törichten Wunsch, geanszert hatte.

3. Rigsum war es still und friedlich, und dem Tischler war das Herz schwer, wenn er an sein eigenes friedloses Heim dachte. Ein Luftzug liess ihn aufsehen : da stand vor ihm ein winziger zwerg, dem ein grater. Bart bis ans Knie reichte.

同上 (新關講師出題)

一 括弧内の接続詞を用ゐて次の単文を連結せよ

(Aber od. obgleich) Die Gesundheit ist ein hohes Gut, die Tugend ist noch schätzenswerter.

二 次の和文を独訳せよ

(a) 今日挙行すへき筈であつた運動会は次の土曜日に延期されました

(b) 敵は大損害を受けて撃退せられ河を越えて逃走せり

三 次の横線を施したる部分を適当に充填せよ

(a) Die Soldat—forgen ei—zuverlässig—Führer. D—König

Otto d—Grosz—haben die Deutschen

(b) vieles zu verdanken

同上 (三浦講師出題)

一 皇太子殿下は三月三日歐洲に向つて東京御出発今年秋には御帰還と承る

二 今年は冬中よりも春になつてからか寒気がきびしい様です

旧制大学予科第二級

作文 (野村講師出題)

一 手

二 外国語に由来する言ひ表し五種以上を掲げよ (例へは「敬意を払ふ」の類)

意を払ふ」の類)

心理学 (瀧村講師出題)

一 情緒とは何ぞや

二 動機の固執性について知る所を述べよ

論理学 (瀧村講師出題)

一 論証の三要素

二 批評の二種を挙げて各の要旨を述べよ

国語 (増子講師出題)

解釈

一 千手の前、羅綺為^二重衣^一如^二無情於機婦^一といふ朗詠を

一兩反したりければ三位中将此の朗詠をせん人をは北野の天神毎日三度翔て守らんと誓はせ給ふとなりされども重衡は今生にては早捨てられ奉つたる身なれば助音して何かせん但罪障輕みぬべきことならば随ふべしと宜ふ

二 世の中はとてかくても同じこと宮も藁屋もはてしなれば
蝉丸

三 やがて来む寿永の秋の哀れ、治承の春の樂みに知る由もなく六歳の後に昔の夢を辿りて直衣の袖を絞りし人人には今宵の歡会も中に忘れぬ思寝の涙なるべし

高山樗牛瀧口入道花見の宴

四 悉達太子は十九にて伽耶城を出て檀特山の麓にて木葉を連れて膚を隠し嶺に上りて薪を取り谷に下りて水を掬ひ難行苦行の劫に俵て遂に成等正覺し給ひき

漢文(細田講師出題)

一 左の文を国文即ち漢字片仮名交り文に書下たすへし

李昉和厚多恕。在位小心醇謹。每有求進用者。雖知其材可取。必正色絶之。已而擢用。或不足用。必和顏温語待之。子弟問其故。昉曰。用賢。人主之事。若受其請。是市私恩也。絶之。使恩歸于上。若不用者。既失所望。又無善辭。取怨之道也。

二 左の語を解釈すへし

(イ) 倉廩実則知礼節。衣食足則知荣辱。(ロ) 知予之為取者政之賓也。(ハ) 豊下。(ニ) 偃蹇。(ホ) 大節炳耀。軒轟宇

宙間。

西洋史(堀講師出題)

一 フランス革命前同国の社会状態を簡明に記せ
二 フランス革命の近因をなしたる事情を記せ
三 一七八九年の革命かフランスの政治に与へたる変革を記せ
法学通論(天野講師出題)

第一

イ 憲法とは何ぞや

ロ 民法の意義を明にして其編別を列挙すへし

第二 権利の定義を掲げて之を簡単に説明せよ

第三 左の一を選んで答ふへし

1 法と道徳との區別を論ず

2 自然的法則と規範的法則との別たるる所以を論ず

商業通論(太田講師出題)

一 産業組合と同業組合とを目的、組織其他各方面より比較論評すへし

二 資金証券を論評せよ

三 次の用語に付き知る所を記せ

い 貸方票 ろ F.O.B. は 委託販売 に 確定申込

英文和訳(廣井講師出題)

(1) I am aware how difficult it is to know one's self; and the man who is intoxicated, furiously denies his drunkenness; yet the West herself is anxiously thinking of her problems and trying experiments, But she is like a glutton, who has not the heart to

give up his intemperance in eating, and fondly clings to the hope that he can cure the nightmares of indigestion.

(2) I know what risk one runs from the vigorously athletic crowds to be styled an idealist in these days, when thrones have lost their dignity and prophets have become an anachronism, when the sound that drowns all voices is the noise of the market-place.

四十一 (操禁糖酒丑劇)

(1) If it were possible that a people⁽⁴⁷⁾ brought up under an intolerant and arbitrary system could subvert that system without acts of cruelty and folly, half the objections to despotic power would be removed. We should, in that case, be compelled to acknowledge that it at least produces no pernicious effects on the intellectual and moral character of a nation.

(2) a. His at home days are the first and third Fridays.

b. I cry off ; you are too much for me.

c. He was left to his own resources.

d. A wall flower.

e. Very likely he will be run in for lèse majesté.

四十二 (傾慕體面丑劇)

It should be understood that the poorest and humblest Japanese is rarely submissive under injustice. His apparent docility is due chiefly to his moral sense. The foreigner who strikes a native for sport may have reason to find that he made a serious

mistake. The Japanese are not to be trifled with ; and brutal attempts to trifle with them have cost several worthless lives.

Will Japan be able to assimilate western, civilization as she did Chinese more than ten centuries ago, and nevertheless preserve her own peculiar modes of thought and feeling ? One striking fact is hopeful that the Japanese admiration for Western material superiority is by no means extended to Western morals.

四十三 (贊嘆體面丑劇)

1. If there are fraternal jealousies in boyhood, when the material comforts and the outside show of existence are the same for brothers, much more are these jealousies likely to be accentuated in after life, when differences of worldly success, or of inherited fortune establish distinctions so obvious as to be visible to all.

2. If he said what he felt impelled to say all his talk would be a perpetual correction of their clumsy blunders. He has therefore no resource but to repress himself and to try to act a part — the part of a pleased gentleman ; but this is wearisome, especially if prolonged.

3. Sometimes it is an irascible father who is always scolding, sometimes a loud-tongued mather shrieks in her fierce volubility. Some children take up the note and fire back broadside for broadside, others wait for a cessation in contemptuous silence and calmly disregard the thunder.

英文和訳 (高橋講師出題)

1. It is by admiration only of what is beautiful and sublime that we can mount up a few steps towards the likeness of what we admire.
2. One link in the chain firmly laid hold of, will by and by through natural connection lead to others.
3. If languages have been often overvalued, it is only when they have been looked upon as an end in themselves.

英語 (松野講師出題)

1. Explain the causes on which the values of commodities.
2. What are the Causes which determine the comparative size of the incomes individuals derive from labour? And how are they determined?

英語 (ホーロムン講師出題)

Write about "Present Day Events".

英文和訳 (村田講師出題)

1. The cookery of John Bull leaves much to be desired.
2. The curfew tolls the knell of parting day.
3. Give more than four words beginning with "chron".
4. (a) 総理大臣と密談 (密室にて) する
(d) 仕立屋か新しい着物の寸方を取る
(c) 求心力衰心力 (縁語を記載せよ)

和文英訳 (宮森講師出題)

- 1 教師が学生間に受けかよふことと其教師の新

力の証拠にはならぬ

- 二 湊川における楠公の死は立派な武士の死たと日本人は誰しも考へてゐるのに故福澤翁は大膽にも大死たと云つた
- 三 東京高等工業学校の生徒か一名昇格問題で逆上して数日前藤田川に投身して自殺したこれは誰の責任とせんか

英作文 (風久講師出題)

国内には革命あり国境には領土を損失するあり大戦前迄は世界の強国と知られた独逸は今や非常に違つた国民となつて仕舞つた。一月十八日は独逸帝国建国五十年祭を行ふべき日であるか誠に感慨無量であらう

領土 territory 五十年 semicentenary

建国 founding of the country

英文和訳 (新藤講師出題)

1. Überhaupt hatte ich nur Freude an der Darstellung meiner inneren Welt, eheich die äussere kannte. Als ich nachher in der Wirklichkeit fand, dass die Welt so war, wie ich sie mir gedacht hatte, war sie mir verdrieszlich, und ich hatte keine Lust mehr, sie dazustellen. Ja, ich möchte sagen: hätte ich mit Darstellung der Welt so lange gewartet, bis ich sie kannte, so wäre meine Darstellung Persiflage geworden.
2. Der Mensch hat verschiedene Stufen, die er durchlaufen muss, und jede stufe führt ihre besonderen Tugenden und Fehler mit sich, die in der Epoche, wo sie kommen, durchaus als naturgemäss zu betrachten und gewissermassen recht sind.

Auf der folgenden stufe ist er wieder ein anderer, von den früheren Tugenden und Fehlern ist keine spur mehr, aber andere Arten und Unarten sind an deren Stelle getreten. Und so geht es fort, bis zu der loszten Verwandlung, von der wir noch nicht wissen, wie wir sein werden.

同上 (練習問題)

1. Es giebt hier kluge Politiker genug, die in Deutschlands Ruin eine Gefahr für die Welt, eine besonders grosse Gefahr für Frankreich erkennen, aber diesen Maennern sich durch die wahnsinnigen Versprechungen, die auf Grund des Versailles Vertrages der Masse gemacht wurden, und durch die Zusammensetzung der jetzigen Kammer die Haende gebunden.

2. Der Botschafterkonferenz ist eine deutsche Note übersmittelt worden, in der gegen die Unterstellung protestiert wird, dass Deutschland den Friedensvertrag in der Prlzeitfrage verletzt habe. Die deutschen Botschafter sind ausgewiesen worden, die Angelegenheit mündlich mit den Regierungen der Enteländer zu besprechen.

同上 (新編講師出題)

1. Der Mensch hat verschiedene Stufen, di er durchlaufen muss, und jede Stufe führt ihre besonderen Tugenden und Fehler mit sich, die in der Epoche, wo sie kommen, durchaus als naturgemäss zu betrachten und gewisssermassen recht sind. Auf der folgenden Stufe ist er wieder ein anderer, von den

früheren Tugenden und Fehlern ist keine Spur mehr, aber andere Arten und Unarten sind an deren Stelle getreten, Und so geht es fort, bis zu der letzten Verwandlung, von der wir noch nicht wissen, wie wir sein werden.

2. Uhrhaupt hatte ich nur Freude an der Darstellung meiner inneren Welt, eheich die äussere kannte. Als ich nachher in der Wirklichkeit fand, dass die Welt so war, wie ich sie mir gedacht hatte, wer sie mir verdrieszuch, und ich hatte keine Lust mehr, sie darzustellen Ja, ich möchte sagen : hätte ich mit Darstellung der Welt so large gewartet, bis ich sie kannte, so wäre meine Darstellung Persiflage geworden.

和文独訳 (新編講師出題)

次の和文を独訳せよ

世の中の事情は日刻刻に變化しつつあるものであるから絶えず新聞や雑誌の記事報導(レポ)に注目して一般の時勢に通じて以て旧思想に固執するやうなことのないうちに心かけなければならぬ

旧制大学予科第壹年級

倫理 (大島講師出題)

- 1 動機論及結果論を略述せよ
 - 1 行為と品性との関係について述べよ
 - 1 良心作用を説明せよ
 - 1 現代思想の道德的批判 (応用問題)
- 右の内二題を解答せよ

国語（青木講師出題）

一 道隆は右衛門の陣より出てよ道長は承明門よりよとそれをさへわかたせ給へはしかおはしましあへるに中関白殿陣まて念しておはしたるに冥の松原のほとにそのものともなき声とももの聞ゆるにすちなくてかへり給ふ

二 一つの間に何事のあるそと問はずれは人伝ならて申すへき事なんといへはさし出てて問ふにこれ頭中将殿の奉らせ給ふ御かへり疾くといふにいみしくにくみ給ふにいかなる御文ならんと思へと只今急き見るへきにあらねはいね今きこえんとて懐にひき入れて入りぬ

国語（増子講師出題）

解釈

一 東より出つる日の更に西に出て又ありなれ河の逆しまに流れ又河の石の昇りて天つ星と化るまで春秋の朝貢を闕き梳鞭の御調を止めは天つ神地つ神共につみなひ給はむ

二 橘は実さへ花さへその葉さへ枝に霜ふれといや常盤の木 聖武天皇賜姓橘氏之時御製

三 忿を絶ち瞋を棄てて人の違ふを怒らされ人皆心あり心各執あり彼是なる時は我非我是なる時は彼非我必ず聖に非す彼必ず愚に非す共に是れ凡夫のみ是非の理唯か能く定むへけん相共に賢愚なること環の端なきか如し是を以て彼の人曠ると雖も還つて我か失を恐れよ我独得たりと雖も衆に従ひて同しく挙へよ

四 菟の中に藜あり齊あり蓬あり藜の中に菟あり齊あり蓬あり

り藤蓬亦復是の如く一切の草亦復是の如く彼は此に資り此は彼に資り甲乙丙丁輪廻環連して冥加幽被し隔歳異種一氣相通するものあるなり

作文（野村講師出題）

一 過去一年間の回顧

（但し学年を主として陳へよ）

二 書翰文に於ける敬称、敬語、「御」を除く）及び謙称謙辞、各五種以上を掲げよ（貴家、光臨、愚息、鄙見の類）

歴史（堀講師出題）

一 宗教武士団体を記せ

二 Domes day Book

三 中世ヨーロッパ文化に与へたる東洋文化の影響を記せ

漢文（手塚講師出題）

一 左の文に返り点送仮名及び解釈を附せ

張子野為人。外雖愉怡中自刻苦。遇人渾渾不見圭角。而志守端直。臨事果決。平居酒半。脱冠垂頭。童然秃且白矣。予固已悲其早衰而遂止於此。豈其中亦有不自得者邪。

二 左の語を解せ

(イ) 社稷之臣 (ロ) 我歲行 (ハ) 一小牢

漢文（佐久講師出題）

左の文に句読返点送仮名を施し余白に解釈すへし

一 俗人拘文章古不達權制奇偉所聞簡忽所見烏可与論国家大事哉

二 母曰汝今得與李杜齊名死亦何恨既有令名復求壽考可兼得乎

英文和訳 (天野講師出題)

(1) 次の二者中一を選んで和訳せよ

(a) I tell you in truth—there is no miracle at the bottom of the success of the German merchants. To study the clientèle, to apply oneself to satisfy it, to divine the requirements of this clientèle—these are their sorceries.

(b) Nothing can dishearten the German representative—neither the mediocrity of the first orders, nor refusals, nor the absence of cordiality in his first receptions.

(2) 次の文章を訳すべし

The war which Germany has let loose on the world sets before the public opinion of Europe a question which seemed to have been reserved, up to these last few years, for the study of economists or historians.

(3) 次の語を訳し之に簡単なる説明を加へよ

(a) Massed production.

(b) Standardised production.

(c) Over-production.

四二一 (樋井龍雄出題)

(1) I have, indeed, no expectation that the laborer is to understand in detail the various sciences which relate to mind. Few men in any vocation do so understand them. Nor is it necessary; though, where time can be commanded, the thorough study of some particular branch will be found of great utility.

(2) Am I asked for my conception of the dignity of man? I should say that it consists in that spiritual principle, called sometimes the reason, sometimes the conscience, which says to me with authority, that my neighbor is as precious as myself, and his rights as sacred as my own.

四二一 (森龍雄出題)

1) The position of the father was in old times perfectly defined. Disobedience to his dictates was felt to be out of the question, unless the insurgent was prepared to meet the consequences of open mutiny.

2) It was always said of him that he knew how to keep Christmas well, if any man alive possessed the know ledge.

3) I am told so many ill things of a man, and I see so few in him, that I begin to suspect he has a real but troublesome merit, as being likely to eclipse that of others.

英龍 (樋井龍雄出題)

"When the Prime Minister did me the honour of inviting me to take charge of the national. Exchequer at a time of great difficulty I made up my mind in framing the Budget which was in front of me that at any rate no cupboard should be barer, no lot should be harder to bear."

The passion among the middle and upper classes rose to such a pitch against Lloyd George's proposals as to cause more than one serious and religiously minded person to write and express

wonder that Heaven did not strike dead such a wicked man before he could accomplish his fell purpose in the ruin of the country.

こんないきさつて彼は辞職することになつたのだ

私は初め彼の心の事を疑つてゐたか其後の行て段段疑か解けた

回十 (松田健造出題)

1. Some people blurt out those words which they are forced to eat
2. Brevity is the soul of wit.

3. Love of gain is an incentive to exertion.

4. (a) 生花

(b) 汽車に間に合ふ、乗り後れる

(c) ガラスは硬くて脆くて透明である

和文英訳 (阿久津講師出題)

I. The temporary absence of worldly scenes and employments produces a state of mind peculiarly fitted to receive new and vivid impressions.

II. When he did speak his voice was thick with feeling.

III. That was the last thing in the world I shall have thought of doing.

英文和訳 (柳澤講師出題)

1. Now is the time for us to advance at all costs and allow ourselves to be slain where we stand, rather than give way.

2. Foch's earlier career was not unlike that of the ordinary French officer—except that he excelled in diligence.

3. Victory always goes to those who deserve it by possessing the greatest power of will and intelligence, Victory is will.

回十 (藤田健造出題)

1. How boys, who play at horses after taking a square meal, must despise us men, who require to sit quiet for a couple of hours after dining off a spoonful of clear soup and the wing of a chicken.

2. They say—people who ought to be ashamed of themselves do—that the consciousness of being well dressed imports a blissfulness to the human heart that religion is powerless to bestow.

3. What was it to Xantippe that her husband was a great philosopher? Great philosophy doesn't count in married life.

回十 (松田健造出題)

1. In view of the fact that the economies of large scale production become comparatively slight after a time, especially in the case of some industries, manufacturers to-day appear to be giving increasing attention to attempts to obtain a steady demand for their products.

2. In the case of some fairly old businesses, new departments appear to have been added without any particular reason, other than that new capital was being invested along the lines of least resistance.

3. The middlemen have not failed to recognise that their position

is being undermined in many trades, and they are seeking to meet this difficulty by obtaining an interest in, if not complete control of, the mills whose product they sell.

㊦ (短齋叢書註釋)

1. If there is anything in you, adversity will bring it out, what a man does in spite of circumstances, rather than because of them, is the measure of his success ability.
2. No one ever looked for trouble, yet without finding plenty of it,
3. Under no circumstances can the worrying be justified by the situation at any particular time.

㊦ (癡辨齋語註釋)

- 1) His attacks were, in general, directed less against particular abuses than against those deeply seated errors on which almost all abuses are founded, the servile worship of eminent men, and the irrational dread of innovation.
- 2) Wise work is useful. No man minds, or ought to mind, its bring hard, if only it comes to something; but when it is hard, and comes to nothing; when all our bees' business turns to spiders'; and for honey-comb we have only resultant cobweb, blown away by the next breeze,—that is the cruel thing for the worker.

和文英訳 (同上)

- 1) 昨日近所の学校から発火して三軒全焼しました。風が強かつたから私の家も類焼したかも知れません。

2) 今日は大変寒いてはありませんか。風を引いてはいけませんから、外套を著て御出なさい。

英文原語 (古口齋叢書註釋)

- 1) He could have borne to live an undistinguished life, but not to be forgotten in the grave.
- 2) The painter flung his hopeless pencil down the precipice, feeling that he could as soon paint the roar, as aught else that goes to make up the wondrous cataract.
- 3) It is with delicate skill that Hawthorne lays bear the heart of the young man and describes his ambitions which were not destined to be fulfilled.
- 4) 以下の単語の意味と発音 (主なるアクセントを附して) とを示せ
 superstition immediately
 enthusiasm empire

和文英訳 (古口齋叢書註釋)

- 1) 父は風邪で昨日から床について居りますか併し大したことはありませんから一両日中には全快するてせう
- 2) もう一度学生時代にかへれたら、それこそ一生懸命に勉強するんたか……ああ過ぎ去つたことは最早いふまい、愚痴をいってても無益だから。
- 3) 彼れは仲仲間らきはあるのだが、とかく学問か鼻にかかるとの仲間の評判かわるい。

㊦ (癡辨齋語註釋)

一 東宮殿下御召艦香取は六日未明沖繩中城湾に着殿下は午前
十時御上陸の上沖繩県庁に御台臨遊はされたる趣電報あり

二 (イ) 会見 (ロ) 連戦連勝 (ハ) 最高指揮権

(ニ) 全盛に達す (ホ) 詳述する

同上 (柳澤講師出題)

一 三日朝帝国大学を始め市内五十余の公私立学校生徒代表者
は東京駅より芝公園に至る間に整列して皇太子殿下の御出発
を奉送せり

二 (イ) 交通線 (ロ) 不撓の精神 (ハ) 畢生の学問

(ニ) 招待を受ける (ホ) 時の聯合軍総司令官

独文和訳 (新關講師出題)

Eines Abends, als ich an dem Häuschen vorbeikam, wandelte
mich die Laune an, Herrn Kniller einmal zu besuchen. Ich
kannte ihn schon seit langer Zeit, da er regelmäßig am Sonna-
abend Abend in meinem Stammwirthshause erschien, und geduld-
ig die ganze lange Zeit an einem Glas Bier sog. Dies war der
äusserste Luxus, welchen ich je an ihm bemerkt hatte. Dabei li-
ebte er es, mit demjenigen, welche Beefsteak oder Gänsebraten
oder dergleichen verzehrten, ein Gespräch über diese
Nahrungsmittel anzuknüpfen, das gute Aussehen derselben zu
loben oder die Kleinheit der Portionen zu tadeln, indem er zu-
gleich lüsterm mit seiner spitzen bleichen Nase den süszen Duft
der Speisen einsog.

会話 (ラーロック講師出題)

1. How can you learn to speak English better?

2. How do you fill up your spare time?

3. What have we talked about?

4. Why are you in Tokyo?

5. How would you treat a cold?

6. What do you read in the newspapers?

○新学年の盛況 学則に依り三月二十日より大学予科及法科、
経済科、商科共入学願書を受理し堀予科主任及天野教務主任に
於て一一精査を遂けて入学せしめ入学期間は一个月間の予定な
りに拘らず其半はに達せず四月一日を以て定員に満ち各科共
満員入学を謝絶するの余儀なきに至れり

○始業式 去月十六日午前十時及午后五時の両回に分ち大講堂
に於て始業式を挙行、新入学生満堂立錐の余地なく多数出席し
午前は岡野学長、午後は馬場(鏝一)理事より訓示演説あり何
れも静肅に傾聴し了りて別室にて学生一同に茶菓の饗応あり同
十八日より各科授業を開始したり

○新学年授業担任者 新学年は法学士阿部壽準(行政法)法学
士清水行恕(刑事訴訟法)法学博士末弘嚴太郎(民法物権)文
学士今井時郎(社会学)文学士小林郁(同上)農学士法学士小
平權一(農業政策)法学士青木得三(銀行論)法学士高橋康順
(商業政策)法学士河合榮治郎(工業及社会政策)法学士藤井
悌(同上)法学士蠟山政道(政治学)工学士野間譽雄(商品
学)文学士頼成一(大学予科漢文)小野赴(同上英語)の諸氏
入りて授業を担任せられ各科の分担左の如し

一、法科

法学通論 法学士 金森徳次郎

憲法 法学士 金森徳次郎 法学博士 美濃部達吉

行政法 法学士 山田準次郎 法学士 阿部 壽準

刑法 法学博士 林 頼三郎 法学士 吉田常次郎

刑事訴訟法 法学博士 林 頼三郎 法学博士 泉二 新熊

民事訴訟法 法学士 遠藤 武治 法学士 前田直之助

民法総則 法学博士 穂積 重遠 法学士 矢部 克巳

民法物権 法学士 西川 一男 法学士 黒崎 定三

民法債権 法学博士 二上 兵治 法学博士 末弘巖太郎

民法親族 法学士 近藤 登吉 法学士 島田 鐵吉

民法相続 法学士 柳川 勝二 法学士 島田 鐵吉

商法論及商行為 法学博士 青山 衆司 法学士 三橋 久美

商法会社 法学博士 岡野敬次郎 法学士 大森 洪太

商法手形 法学士 矢部 克巳 法学士 樋貝 詮三

商法海商 法学士 寺田 四郎 法学士 樋貝 詮三

商法保険 法学博士 青山 衆司 法学士 三浦 義道

破産法 法学士 遠藤 武治 法学士 阿部文二郎

經濟原論 法学博士 金井 延 法学博士 河津 暹

財政学 法学博士 馬場 鉄一 法学士 太田嘉太郎

国際公法 法学博士 中村 進午 法学博士 遠藤 源六

国際私法 法学士 松野 祐裔 法学士 佐々野章邦

羅馬法 法学博士 春木 一郎

社会学 文学士 今井 時郎 文学士 小林 郁

刑事実習 法学博士 林 頼三郎 法学士 服部 平六

民事実習 法学士 鬼澤藏之助 法学士 三橋 久美

英国法 法学博士 池田寅二郎 法学博士 春木 一郎

独逸法 法学博士 堀江専一郎 法学士 吉村源太郎

独逸法 文学士 久保 久 法学士 澤田竹次郎

英語及独逸語 文学士 土方 寧

英語及独逸語 パチエラー、オフアーツ 岡田 實麿

英語及独逸語 文学士 野村 岳陽 柳澤慎之助

經濟原論 法学博士 金井 延 法学博士 河津 暹

經濟原論 法学士 佐倉 重夫

法学通論 法学博士 金森徳次郎

貨幣論 商学士 太田 哲三 法学士 富田勇太郎

農業政策 農學士 小平 權一

交通政策 法学士 工藤 義男

信用及銀行論 商学士 太田 哲三 法学士 青木 得三

社会及工業政策 法学博士 上田貞次郎 学 士 藤井 悌

財政学 法学博士 河合榮治郎

演習 法学博士 馬場 鏝一 法学士 太田嘉太郎

商業英語 法学博士 上田貞次郎

工業通論 工学博士 高谷實太郎 鈴木 丑松

民 法 法学士 松浦 和平 吉田 久

商 法 法学士 西川 一男 柳川 勝二 法学士 三浦 義道

英 語 法学士 千葉 勉 柳川 勝二 法学士 三浦 義道

名著研究 法学博士 柳川 勝二 法学士 三浦 義道

独逸語 文学士 野村 岳陽 岡本 正文

支那語 文学士 野村 岳陽 岡本 正文

四、大学予科

主 任 文学士 堀 竹雄

倫 理 文学士 大島 正徳

国語漢文 文学士 細田 謙藏 文学士 頼 成一

文学士 野村 岳陽 文学士 増子 懷永

文学士 青木 正 文学士 佐久 節

文学士 新津 米造 文学士 千葉 勉

文学士 大久保省二 文学士 小野 糾

文学士 鷺見龜五郎 ベルシ、ワイテイング

英 語 片山 寛 文学士 片山 毅

高橋 正熊 フランクテツバット、ラーコック

村田 祐治 マスター、オプ、アーツ 船橋 雄

阿久津謙二 中央大学法学士 天野 徳也

廣井辰太郎 宮森麻太郎

文学士 森 卷吉 文学士 廣田道太郎

文学士 葉山萬次郎 文学士 新關 良三

文学士 野村 岳陽 文学士 三浦吉兵衛

歴史地理 文学士 堀 竹雄 文学士 和田 清

数 学 理学士 根津 千治 金澤 卯一

自然科学 理学士 篠原 雄

論 理 学 文学士 楠 弘閣

心 理 学 文学士 楠 弘閣

法学通論 中央大学法学士 天野 徳也

経済通論 文学士 鈴木 清吉

商業通論 商学士 橋本 良平

哲学概論 文学士 大島 正徳

簿 記 商学士 太田 哲三

体 操 陸軍歩兵少佐 出羽 重三

第二外国語 英 語 柳澤慎之介

独逸語 文学士 野村岳陽

○維持基金の払込ありたる額及其氏名左の如し

金五円(五十七回分) 伊藤久次郎君

金五円(五十七回分) 井上 朗三君

金五円(五十七回分) 井上 朗三君

金五円(五十七回分) 井上 朗三君

金壹円八拾錢 (卅五回分)	飯田 高朗君	金壹円 (一〇七回分)	西川 一男君
金參拾円 (三回分)	一又 安平君	金參円 (五十一回分)	細谷 五郎君
金參円 (卅八回分)	生井 耕造君	金貳円 (五十八回分)	本田典太郎君
金貳円 (十三回分)	池田豊三郎君	金四拾五円 (卅二回分)	本田 常吉君
金壹円五拾錢 (五拾七回分)	井上 剛一君	金七円 (二回分)	本田 智藏君
金參円 (三回分)	池田 清秋君	金拾円 (五十六回分)	堀 竹雄君
金參円五拾錢 (五十六回分)	稻澤庄次郎君	金四円 (五十一回分)	富田祐太郎君
金參百貳拾円 (卅八回分)	石井 謹吾君	金壹円 (四十七回分)	徳田 直吉君
金四百円 (一、二回分)	池原鹿之助君	金拾円 (二回分)	外山 福男君
金貳拾五円 (二回分)	岩井正次郎君	金五拾錢 (五十三回分)	戸石 正憲君
金壹円 (十一回分)	稻田 正雄君	金壹円 (五十四回分)	東條 正平君
金壹円 (五十回分)	稻垣宗次郎君	金壹円 (九五、六回分)	富田勇太郎君
金壹円 (五十五回分)	今田鎌太郎君	金貳円貳拾錢 (五十五回分)	千脇 尚徳君
金貳円五拾錢 (十二回分)	岩下 知敦君	金五拾円 (自二回至廿六回分)	大西 光治君
金貳円八拾錢 (十四回分)	飯島 莞爾君	金壹円 (四十七回分)	岡 辨良君
金五円 (五十三回分)	稻田周之助君	金貳拾円 (四十七回分)	大岩 勇夫君
金參百貳拾円 (自六十回至七十五回分)	馬場 愿治君	金四円 (十二回分)	小山田 實君
金壹円 (五十一回分)	原 定男君	金五円 (五十六回分)	大内省三郎君
金參円 (十一回分)	伴 善光君	金五拾錢 (四十九回分)	岡崎 一治君
金拾円 (自二十一回至廿四回分)	馬場 金吾君	金貳円八拾錢 (二十八回分)	岡崎熊三郎君
金五十錢 (十七回分)	挾間大治郎君	金拾円 (自十回至十四回分)	大西 利夫君
金貳円五十錢 (十六回分)	橋倉 次雄君	金拾二円 (四十四回分)	岡田宇之助君
金壹円 (五十五回分)	葉山萬次郎君	金五円 (十三回分)	岡田榮太郎君
金壹円 (十回分)	西浦 實君	金貳円 (十六回分)	大照 常弘君

金五円拾銭(三分)

岡見 清直君

金貳円八拾銭(十八回分)

竹内 静三君

金貳円(卅九、四十回分)

太田嘉太郎君

金貳円五拾銭(四十九回分)

高柳覺太郎君

金五拾銭(五十四回分)

鷺見龜五郎君

金壹円五拾銭(四十八回分)

田崎 慶一君

金壹円(九回分)

兼松謙太郎君

金五拾銭(五回分)

染木 清文君

金貳百円(一時払)

勝本勘三郎君

金五拾銭(五十九回分)

筒井 雪朗君

金百參拾五円(卅五回分)

加瀬 禧逸君

金五円(十一回分)

鶴田 恣君

金貳百円(二十五回分)

龜山 要君

金貳円五拾銭(十三回分)

根本仙三郎君

金貳拾四円(自四十九回至六十回分)

貝塚徳之助君

金壹円(十五回分)

根津 千治君

金壹円(五十七回分)

加藤 一郎君

金貳円五拾銭(四十八回分)

内藤諒太郎君

金貳円八拾銭(十六回分)

門屋 直哉君

金拾円(二十回分)

中野勇治郎君

金壹円貳拾銭(十四回分)

龜山 慎一君

金貳円八拾銭(十九回分)

長山 壽雄君

金壹円(十五、六回分)

川村 寛治君

金五拾銭(四十回分)

中村 淑人君

金壹円(五十五回分)

金澤 卯一君

金五拾銭(四十八回分)

中島 正堅君

金貳円五拾銭(六十三回分)

頼信藤四郎君

金壹円五拾銭(四十六回分)

中村 進午君

金四円(五十六回分)

吉益 俊次君

金四百年(一回分)

村上 廉吉君

金貳円(二十三回分)

吉澤 周一君

金五拾銭(五十七回分)

村田 祐治君

金拾円(八十一回分)

横田 秀雄君

金五百円(二十一回分)

卜部喜太郎君

金五円(四回分)

田中 武君

金貳円八拾銭(十七回分)

梅村 大君

金參円五拾銭(二十九回分)

高野兵太郎君

金拾円(四十七回分)

野呂 鐵藏君

金五拾銭(二十二回分)

竹下 順一君

金貳円(九回分)

野上 滿雄君

金二円八拾銭(十七回分)

高杉常五郎君

金貳円(壹回分)

熊谷 幸輔君

金二円八拾銭(四十二回分)

谷村 唯一君

金貳円貳拾銭(五十一回分)

國枝 鎌三君

金百円(二回分) 完

田口菊太郎君

金九円(三回分)

朽木 義春君

金五拾銭(卅五回分)

太宰 孝吉君

金七拾六円(三回分)

楠 久接君

金五円 (十五回分)	矢澤 榮三君	金貳百円 (一時払)	遠藤靖之助君
金貳円 (十四回分)	山口 昇君	金壹円五十銭 (五十回分)	遠藤 源六君
金貳円五十銭 (十七回分)	山口彌三郎君	金壹円 (五十回分)	遠藤 武治君
金貳円五十銭 (六十一回分)	柳田宗一郎君	金拾五円 (四十八回分)	手代木佑壽君
金五円 (五十五回分)	山田 三郎君	金二円七拾五銭 (二十回分)	淺沼彦一郎君
金拾円 (三回分)	矢部 廉君	金參円 (十五回分)	秋元九十九君
金參百円 (二十七回分)	前田 米藏君	金五円 (二十回分)	安達元之助君
金壹円五十銭 (四拾六回分)	丸山柯太郎君	金四円 (十六回分)	荒井 操君
金五拾銭 (五十五回分)	松澤常四郎君	金拾円 (十三回分)	秋山 清君
金壹円 (四十九回分)	牧野 充安君	金貳円五十銭 (四拾九回分)	東兵右衛門君
金貳円 (卅四回分)	松隈 昌隆君	金壹円 (十二回分)	安立 守成君
金拾二円八拾銭 (八十一回分)	馬淵徳三郎君	金貳円 (卅一、二回分)	天野 徳也君
金貳円 (三十七回分)	前田勝三郎君	金壹円六拾七銭 (二回分)	妹尾與志夫君
金五円 (一回分)	牧石翠二郎君	金五拾円 (四回分)	淺野 三秋君
金拾二円 (二回分)	正岡 義光君	金拾円 (二回分)	新井司馬五郎君
金拾五円 (十一回分)	松本 伊織君	金六拾円 (二回分)	相原文四郎君
金參円 (卅二回分)	松本 安藏君	金拾円 (壹回分)	青木 重治君
金壹円 (十一回分)	松野 清一君	金五円 (五十八回分)	安達駿三郎君
金壹円 (十二回分)	藤倉 爲吉君	金三円 (五十五回分)	赤井 定義君
金貳円 (二十一回分)	古本 春藏君	金貳円八拾銭 (十六回分)	淺野松次郎君
金壹円五十銭 (卅五回分)	小菅 寅吉君	金拾貳円 (卅四回分)	青山 衆司君
金貳円八拾銭 (十八回分)	後藤傳兵衛君	金壹円五十銭 (五十四回分)	阿部文二郎君
金五円 (一回分)	輿石彌久雄君	金參円 (二十三回分)	佐原寅三郎君
金壹円 (五十三回分)	五味 逸平君	金貳円八拾銭 (十回分)	作田高太郎君

金拾円 (二回分)	齋藤豊之進君	金拾円 (一回分)	弘重 定一君
金参百円 (二回分)	齋藤 正毅君	金壹円 (五十五回分)	平山 勘次君
金壹円 (卅一回分)	木村競次郎君	金貳円五拾銭 (十八回分)	平井彦三郎君
金拾円 (十九回分)	北島 和作君	金貳円 (四十七回分)	平尾 賢次君
金貳円 (十七回分)	菊地 四郎君	金参円 (十回分)	持田 諛君
金五拾銭 (三回分)	北村藤太郎君	金壹円 (四十七回分)	森 源作君
金貳円二拾銭 (五十五回分)	木寺 亨重君	金貳円 (卅一回分)	泉二 新熊君
金千円 (二回分)	岸 清一君	金貳円 (二十回分)	砂田清次郎君
金貳円八拾銭 (十八回分)	三上 直吉君	金壹円 (四十七回分)	鈴江秀太郎君
金貳円五拾銭 (五回分)	水谷 團次君	金拾円 (二回分)	鈴木 好清君
金拾円 (四十八回分)	水野 博徳君		(以下次号)
金壹円 (四十七回分)	三橋 久美君		
金四円拾五銭 (二十回分)	下村 逸進君		
金五拾銭 (二十五回分)	島田久太郎君		
金貳円五拾銭 (四十九回分)	白鳥保五郎君		
金壹円五拾銭 (卅四回分)	重信喜太郎君		
金壹円 (十一回分)	柴田 廣吉君		
金五拾四円 (二十六回分)	執行 軌正君		
金壹円 (十七回分)	設樂 義男君		
金壹円 (五十四回分)	島田 鐵吉君		
金貳円五拾銭 (二十四回分)	島村他三郎君		
金五円 (十三回分)	平尾縫太郎君		
金百六拾七円 (壹回分)	平田 護衛君		
金拾円 (壹回分)	久野 工君		